新e-Radの主な変更点

平成24年11月



大臣官房政策課 情報化推進室 研究振興局 振興企画課 競争的資金調整室

新e-Rad開発のコンセプトについて

コンセプト

利用者の研究費の申請と管理に関する業務の手間を減らす。

観点1 現行システムにおける問題点の解消

手法:ユーザビリティ調査(システムの使いやすさに関する調査)

以下の調査を実施し、現行システムにおける問題点を抽出・分析。

・利用者へのWebアンケート(回答総数 7,540 件)

・ヘルプデスクへの問い合わせ分析(対象件数 76,602 件)

・専門家によるシステム利用調査

観点2 利用者からの要望に基づく新たな機能追加

<u>手法:Webアンケート調査</u>

上記ユーザビリティ調査と合わせて実施。さらに、回答者に対して追跡アン ケートも実施。(回答総数のべ8,943件)。

改善要望の具体例

事務代表者/分担者

研究者

[追加した方が良いと思う機能や手続き] ・公募開始時などのメール通知 ・研究者番号からの研究者情報登録 ・エフォートの修正や管理機能	 [新システムでの対応] メール通知機能を追加 番号とフリガナで追加可能に エフォート管理の専用機能	
[無くした方が良いと思う機能や手続き] ・申請書PDFのパスワード ・多すぎる入力項目	 申請書PDFのパスワードを廃止 過去課題からのコピー機能や ReaD&Researchmapとの連携	3

説明資料の構成

本資料の構成は以下のとおり。主要な機能のみ、紹介する。

1.研究機関向け機能

1-1. 研究者の管理

- ①研究者の新規登録時のメール通知 ② ログインID/パスワード再通知機能
- ③ 職情報の登録方法の変更

1-2. 申請手続きの管理

- ①研究機関における独自情報登録機能
- 承認手続き方法の変更
- ③ 承認依頼メールの通知頻度変更
- ④ 締め切り前メールの送付
- ⑤応募情報の引き戻し(事務代表者)
- ⑥ログイン認証方法の変更
- ⑦事務分担者への代表者権限の付与

3. その他共通機能

ログイン画面の統合
 ページ内容に沿ったヘルプ情報の表示
 エフォート管理機能の強化

右上のアイコンは紹介する機 能の対象者を表しています。 左:研究者、右:研究機関

2. 研究者向け機能

2-1. 応募を行う

- ① 申請様式ファイルの変換/提出タイミング の変更
- ②研究分野情報の変更
- 応募情報入力画面の改善
- ④ 研究分担者追加の簡略化
- ⑤ 過去の応募/採択課題情報のコピー機能
- ⑥ 研究分担者への編集/閲覧権限の付与
- ⑦ ReaD & Researchmapとの連携
- ⑧応募情報の引き戻し(研究者)
- ⑨ 画面へのタイマー表示機能

2-2. 公募を探す

- ①公募案内のメール通知
- 公募の検索機能の追加

2-3. その他

① 機関別ログインIDの統合

1-1. ① 研究者の新規登録時のメール通知

これまで

研究者を登録する場合、e-Rad上でログインID通知書を作成した上で印刷し、それを本人 へ送付する必要がある。



<問題点>

- ・【研究者】登録されてからログインできるようになるまで時間がかかる。
- ・【研究機関】Wordファイルの差し込み印刷が難しい。
- ・【研究機関】紙媒体への印刷や郵送の手間が面倒。

1-1. ① 研究者の新規登録時のメール通知

これから

メール通知でログイン情報を通知できるように!

研究者を新規登録した時点で本人宛にログインのためのURLと初回パ スワードが記載されたメールが送信されるようになる。

1. e-Rad上で新規登録 2. 自動的にメール配信



注意) 初回ログインを行うためにはメールに記載され ている初回パスワードと別に、研究者登録時に 設定する「初回ログイン認証コード」が必要。 この情報はシステムからは通知されないため、 メールや電話などで別途ご本人へ連絡していた だく必要があります。

<改善ポイント>
・【研究者】登録してからログインするまでの時間短縮。
・【研究機関】印刷と郵送の手間の解消。

6



1-1. ② ログインID/パスワード再通知機能

これから

研究者が自分自身で再発行の手続きが行えるように!



く改善ポイント>

- ・【研究者】事務担当者に連絡しなくても、自分で再通知手続きが可能。
- ・【研究者】パスワードを忘れた場合だけでなく、ログインIDを忘れた場合にも再通知可能。
- ・【研究機関】再設定の手間の解消。

-1. ③	職情報の登	登録方法の変更	
これ	まで		
- A	研究者の職情報が	が実際の職名で登録できない	···· < 52
研究者情報 Bad Research	登録」画面		
e-Rad 新闻来 >>>> 研究:	者情報登録		
所属情報】 所属研究機関 箏局コード	 (コード) 9999 (名称) 研究 * 一 一覧 	大学	・職情報がシステムで標準設定された 固定的な一覧からしか選択できない。
e	* (コード) - ÿ	※「その他」の場合のみ入力してくださ	
申請時連絡先 メール7 メール7 状態	Pドレス1 Pドレス2 機関所属		— ・教授、准教授、講師、助教、助手等 —
	-		

<問題点>

・大学等以外での研究者登録の際に、正しい職情報での登録が行えない。

1-1. ③ 職情報の登録方法の変更

これから

研究機関ごとに独自の職情報の登録を行えるように!」職階」と主な役職の対応表

 ・右の職階を選択した上で職情 報の登録を行うことができる。
 ・職階の他、職情報に関連する 情報(雇用形態、雇用財源、任 期の有無)も登録。

※「職名」に付随する「雇用財源」、「雇用 形態」、「任期の有無」の情報は将来的な 調査分析のために用いるものであり、審 査等その他の目的のために使用されるこ とはありません。

	全体の職階	大学の職名	大学以外の研究機関の職名			
		名誉教授クラス	如 目 クニマ			
	教授・部長 クラス	教授クラス	部長クラス			
	准教授・室長・グループリーダ クラス	准教授クラス	室長・グループリーダークラス			
7	神師 마까 마루 노효재까요	専任講師クラス				
	請師・助教・助手・上席研究員 クラマ	助教クラス	上席・主任研究員クラス			
	//~	助手クラス				
	研究員・ポスドククラス	研究員・	ポスドククラス			
		事務系・	行政職員クラス			
	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	技術技能系職員クラス				
	戦員(事務末・投削未)クノス	医療系職員・医師(研修医含む)クラス				
		教務系職員(非常	常勤講師を含む)クラス			
	博士課程クラス	博士課程学生クラス	<該当なし>			
	その他	その他	その他			

く改善ポイント>

・研究機関で職情報が登録可能となることで、大学等以外であっても正しい職名での登録が可能。

1-2. ① 研究機関における独自情報の登録

これまで



- <問題点>
- ・【研究者】公募に関する情報が分散していて分かりにくい。
- ・【研究機関】自機関の情報を共有するためには、メールや学内のホームページを使うし かない。

```
11
```

1-2. ① 研究機関における独自情報の登録

これから

自機関内の独自情報をe-Rad内の「公募一覧」で公開できるように!

「研究機関独自情報 ^{● MORE} LOCOET ^{● RECENTED O STRATE S ST [●] NO STREND O STRATE ^{● RECENTED O STRATE ^{● NO STREND O STRATE ^{● NO STRATE [●] [●] [●] [●] [●] [●] [●] [●] [●] [●]}}}}</sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup></sup>	<mark>設定」画面</mark>	 <登録できる情報> ・機関内の応募締切日時 ・連絡事項(機関内での申請に関する諸連絡事項など) ・担当部署情報(担当部署の住所や担当者の電話番号など) ・URL(担当部署のWebサイトなど)
 第二十條約名 第第名 第第名 第第名 (第名 平変 (約2) (約5) (10) ((内部) (7.2) 参加(5015(GBS美子)) (7.2) 参数(5005(GBS美子)) (7.2) 後期(5005(GBS美子)) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	※1 あらかじめ初期値を登録しておくことも、個々の公募ごとに登録 することも可能。 ※2 登録後に「確定」することによって、自機関の研究者に対して公 開するとともに公募の一斉メール通知を行うことができる。
9675-1841899 中道時の争務分計者単編(必用)	1000000000111100000000000000000000000	2429.7.7.2.5.1997 988446**********************************

く改善ポイント>

- ・【研究者】公募に関する情報の収集に手間取らずに済む。
- ・【研究機関】研究機関独自の情報を研究者に対して周知しやすくなる。

1-2. ② 承認手続き方法の変更

これまで

シ>>>> 応募受 ダ金で現代 全く構成 変 配分数間名 研究目 2 0000 税額 000 0 0000 税額 000 0 0000 税額 000 0 0000 税額 000	募受付状況 (1885) 事業名	一覧						
	事業名	研究者番号						
R 分配回答 研究目 □ ○○○○○根稿 ○○○○ □ ○○○○○根稿 ○○○○ □ ○○○○○根稿 ○○○○			K D M D A	-	応算基	木情報	18	算状況
 ○○○○○ 役相 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	研究開発課題名	研究者氏名	用助司与石	3211 MIR	喻12	11 M	状態 🎫	处理
0000 With 0000	0000事業	X000000X	2000	9999年99月99日			確認待ち	承認 修正依赖 却下
OOOO 機構 OOO	00000492	200000000						
	0000研究	00 00	2002部	9999年99月99日	■ 82¥	· 3748	却下	
000	0000事業	X0000000K	NYN BE	0000 # 00 B00 FI	500		配分程期修正依赖中	
000	0000研究	00 00			C-F		未確認	
00000848	00000事業	200000000	XXX部	9999年99月99日	🕞 🖧 🗐	-詳細	確認待ち	承認 修正依頼 却下



<問題点>

承認等の手続きをしなければならない対象の課題がどれほどあるのか分かりにくい。

1-2. ② 承認手続き方法の変更

これから

承認や修正依頼の手続きが必要な課題の一覧画面を追加!

ログイン直後の画面に「未処理一覧」画面を表示、この画面に全ての申請手続き において承認等の手続きが必要な課題が一覧で表示される。



く改善ポイント>

・承認や修正依頼の手続きが必要な課題が一覧できるため、確認漏れ・承認漏れを抑止できる。

1-2. ③ 承認依頼メールの通知頻度変更



15

これまで

メール通知の設定は、「送信する」か「送信しない」かの選択肢のみ。

			心劵甲請		
メール道	通知設定」 画面				
e-Rad	Research and Development 府省共通研究開発管理システム	ブ ログアウト	F		→
>>>>	メール通知設定				
 e-Rai メール 登録る 	から自動的に送信するメールの設定をしてください。設定はメールの種別ごとに↓ は登録情報の「メールアドレス1」に送信されます。 されているメールアドレスが正しくない場合にはメールは送信されませんので注意!	·要となります。 してください			90
36 Pil	h (2) /5	197.40			
41 0.1	31229	76.87			
41.01	マイニンソ 研究者によって確認登録された時	度低 ♥ 目前	AR		\rightarrow
応募申請 交付申請	ライニノク 研究者によって確認登録された時 事務分担者によって承認された時	度信 しない ♥ 受信する ♥	A.	<u>美</u> 三	\rightarrow
花芽申請 交付申請 戎果報告概要 戎果報告書	371-22 研究者によって確認登録された時 事務分担者によって承認された時 配分個関担当者によって受理された時	度低 受信しない ▼ 受信する ▼ 受信しない ▼			
応募申請 交付申請 成果報告概要 成果報告書		度折 受信しない 受信する 受信しない 受信しない 受信しない			\rightarrow
花芽申請 応芽申請 成果報告欄要 成果報告書 応募申請		xまれ 受信しない ◇ 受信する ◇ 受信しない ◇ 受信する ◇ 受信する ◇		美 _三 、 美 _三 、	\rightarrow
応募申請 交付申請 成果報告書 		<u>度</u> (する) 受信する。 受信はない。 受信する。 受信する。 受信する。 受信する。		· 注于 · 注于	→ 「受信する」を設定する
		<u>度低</u> 受信しない。 受信する。 受信しない。 受信する。 受信する。 受信する。 受信する。 受信する。			「受信する」を設定する山のようなメールが

<問題点>

・メールの頻度の設定が行えない。したがって、「送信する」を選択すると、研究機関の 規模によっては、事務担当者に大量のメールが配信されることになってしまう。

1-2. ③ 承認依頼メールの通知頻度変更 これから

承認依頼メールを1日ごとにまとめて受け取れるように! メールの設定の中で、受信頻度を「1日ごと」、「課題ごと」で選択できるようになる。

甲請	I HOME LOGOET					Branciss el
「「し」になった		D 102		11.00 E.M	LTUてから経過した時	M(model) ?~15 384
1日1週のみ /	BURNINGER			1-23	1025	1-1.25
	口他被帮助你找自由有行言	1-1-60	and the second sec	26	26	ME
	ロガイドライン相告書語出 ロ各種データー体影響	元期期期研究计图4(例例)至38进程/~-ル	定幕律論の研究局面に分析を一分析MMELUて発 前・検査・MMEの可いことをおわらせずをパールで	4870 .		٨
	ロドレチの理論第一般	定期期間研究计性者(例例)至终于地/一ル	に基準額の研究組織に分析者/分析機能として量 語・検査・制制の「おれたことをお知らせずるメールで す。	2876 ·		
	ロメール通知設定	定和IPI目前完计性者(MM)室由进程。/一小	の取得動力研究活動に分析象/分析物料として配 時・検査・利用的づわれたともからせずるメールで す。	- 6185		
	ロバスワード変更	交付・配分決定情報室録遺知メールード	交付・記分類が決定がされたことも研究者、及び研 究例MCENDらせずもメールです。		28	3/등년 년 (구
		課題を許多通知スール	定募除の各種中国が形容されたこともわ知らせずる メールです。		20	党信頻度 は、
ペノールには、公券単位の		課題を学を通知にメール	定都等の各種中議が削除されたことをお知らせずも メールです。		28	「課題ごと」
1日分の甲請件数を記載。		PBNDERSC-1-	応募除の各種申請が利用されたことをお知らせずる メールです。		20	
161		課題を認知道シロメール。	応募除の各種申請が削除されたことを約知らせずる メールです。		20 2	
		PREFERENCE-IL	に基準の各種中語の術師SILだことをEDからせずら メールです。		28	ごと」を選択。

く改善ポイント>

・設定を適宜切り替えることにより、大量のメールに悩まされることがなくなる。



1-2. ④ 締め切り前メールの送付

これから

締め切り前にメールで確認のお知らせを通知!



<改善ポイント>

- ・【研究者】応募の申請の提出し忘れを抑止することができる。
- ・【研究機関】研究者から提出された申請書類の承認等の処理のし忘れを抑止することがで きる。

1-2. ⑤ 応募情報の引き戻し(事務代表者)



これまで

応募情報を一旦提出してしまうと、配分機関の事務担当者へ依頼しない限り、 再度編集できるようにならない。 配分機関担当者は「修正依頼」という形で 事務代表者/研究者へ戻すことが可能。 事務代表者 配分機関担当者 研究者 事務代表者/研究者は提出した情報を 自分で出し直しすることができない。 <問題点> ・【研究者】提出後にミスに気付いた際に、配分機関担当者へ連絡をしなければ修正が 行えない。 【研究機関】依頼のたびに、修正依頼の処理を行う手間がある。 19 1-2. ⑤ 応募情報の引き戻し(事務代表者) これから 事務代表者によって、提出した応募情報の出し直しを可能に! 配分機関担当者

事務代表者

・「引き戻し」可能なタイミング 受付期間の締切日、もしくは配分機関による「受理」が 行われるまで。

事務代表者によって提出した応募情報の 出し直し(「引き戻し」)ができるようになる。

く改善ポイント>

・【研究者】配分機関担当者へ依頼を行う手間なく、修正作業が可能。

研究者

・【研究機関】依頼のたびに、修正依頼の処理を行う必要がなくなる。

1-2. ⑥ ログイン認証方法の変更



これまで

e-Radlcログインするためには、電子証明書のインストールが必要。



<問題点>

- ・【研究機関】電子証明書の発行や更新等の手続きが煩雑で面倒。
- ・【研究機関】電子証明書のインストール時にトラブルが多数発生する。
- ・【研究機関】インストールされたパソコンからしかログインできず、パソコンを換えるたびに電子証明書のインストールが必要になる。

1-2. ⑥ ログイン認証方法の変更

これから



く改善ポイント>

- ・電子証明書の管理やインストール等の業務から解放される。
- ・複数のPCからもアクセスが可能。

1-2. ⑦ 事務分担者への事務代表者権限の付与

これまで

事務代表者はe-Rad上で担当する業務が多いにも かかわらず、研究機関で1名のみしか登録できない。

<事務代表者>

研究機関においてe-Radに係る事務を総括する者のこと。事務代 表者は、事務分担者及び研究者の情報を管理します。また、研 究者による応募の承認(機関レベルでの承認)などの業務を行う。

<事務分担者> 事務代表者以外で研究

事務代表者以外で研究機関においてe-Radの事務を分担する者のこと。事務分担者は、自分の担当している部局(事務代表者が設定)の範囲内の研究者の情報の管理、研究者による応募の確認(部局レベルでの承認)などの業務を行う。



<問題点>

- 事務代表者が不在時に承認処理が行えなくなるおそれがある。
- ・事務代表者に業務が集中してしまう。
- ・結果としてIDの使い回しが発生してしまう。

1-2. ⑦ 事務分担者への事務代表者権限の付与

これから

事務分担者へ事務代表者の権限を付与できるように!

事務分担者の登録画面において、「事務代表 者権限」にチェックを入れることで、事務代表者 と同等の権限を持てるようになる。



く改善ポイント>

- ・事務代表者が不在時であったとしても承認処理が行えるようになる。
- ・事務代表者としての業務を複数人で分担することが可能。
- ・IDの使い回しをする必要がなくなる。

2-1. ① 申請様式ファイルの変換/提出タイミングの変更

これまで

※申請様式ファイルとは? 応募を行う際にe-Rad上で入力する項目とは 別に作成が必要なWordなどのファイルのこと

申請様式ファイルの変換と提出は同じタイミングで行われる。 対象とするファイル形式は、Word形式、一太郎形式、PDF形式のいずれか。



- <問題点>
- ・提出時点でのPDF変換処理でエラーが発生する場合がある。また正しくPDFに変換され ない場合もある。
- ・システム上、アップロードとPDF変換が同時に行われるため、システムへの負荷が大き い。(アクセスが集中した場合にシステムが不安定になることがある。) 25

2-1. ① 申請様式ファイルの変換/提出タイミングの変更

これから

申請様式ファイルの変換と提出の手続きを別のプロセスへと分割

PDF変換の専用ページを設けて、事前に変換を 行った上で、提出が行えるようにする。

【ステップ1:PDF変換】

Wordや一太郎ファイルをPDFへ変換する。





く改善ポイントン

- 変換されたPDFを提出する前に確認することができる。
- 応募申請登録の際にはファイル変換を行わないので、登録時のシステム負荷が減る。 (アクセスが集中する時間帯であってもシステムの安定稼働を確保する。) 26

2-1. ② 研究分野情報の変更



応募時に入力が必要となる、応募内容の該当する「研究分野」は、「第3期科学技術基本計画」 における「戦略重点科学技術分野」に基づく研究区分。

「戦略重点科学技術分野」について 「第3期科学技術基本計画」において、 「政策課題対応型研究開発の戦略的重 点化が必要」との問題認識から総合科学 技術会議によって定められた研究分野で あり、「重点推進4分野(ライフサイエンス、 情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料) 及び推進4分野(エネルギー、ものづくり 技術、社会基盤、フロンティア)の各8分 野」からなる。

}野	•	(コード)	
}野1		(コード) (3-ビ)	
		分野一覧	Ĩ
分野コード	分野名	研究区分	< <p>(若よ)</p>
0101	ライフサイエンス	11/L	二 四 数 (+ 1 6 0)
0102	ライフサイエンス	医学・医療	/ ブョゾタメ゙よ エリリ。
0103	ライフサイエンス	食料科学・技術	
0104	ライフサイエンス	- 脳科学	
0104	ライフサイエンス	パイオインフォマティクス	
0105	1111111111		
0105	ライフサイエンス	環境・生態	
0105 0106 0107	ライフサイエンス	 環境・生態 物質生産 	

<問題点>

・幅広い研究分野の網羅的な分類が行えない(特に「人文・社会」が全て一括りに されてしまっている)。

2-1. ② 研究分野情報の変更

これから

科研費の「系・分野・分科・細目表」の採用!

応募時に入力する「研究分野」を科学研究費助成事業(科研費)で利用 されている「系・分野・分科・細目表」へ変更する。

「系・分野・分科・細目表」について 「人文・社会科学から自然科学まで全ての分野 にわたり、基礎から応用までのあらゆる学術研 究(研究者の自由な発想に基づく研究)を対象 とした競争的資金」である科研費において、研 究者が審査を希望する分野を選択する際に利 用する分類表。

情報学			
5984	総計	細目垂号 分前垂弓	病化
非程学基礎	情報学基礎理論	1001	
	数理情報学		
	統計科学		210
计算基型	計算機システム	油日致は	272"
	ソフトウェア		0
	情報ネットワーク	1103	
	マルチメディア・データベース	1104	
	高性能計算	1105	
	情報セキュリティ	1106	
間情報学	認知科学	1201	
	知觉情報処理	1202	

く改善ポイント>

・選択肢が増えることにより、より正確な「研究分野」によって応募/審査を行うことが可能。

2-1. ③ 応募情報入力画面の改善

これまで

応募時の入力は一方通行で、必須項目を全て入力しない限り、次の画面には進めない。 =書けるところから埋めていくことが出来ない。

e Rod managements	e Rod BEAMPROPERV376	e Rod managementary 276	e Rod BEAMPREEDUNA
>>>> 応募情報宣録[応募-受入状況の入力]	>>>> 応恩情報登録【研究報別情報の入力】	>>>> 応募情報登録【応費時予算額の入力】	2222 応募情報登録【研究者情報の確認】
	2	2	1
T T <tht< th=""> <tht< th=""> <tht< th=""> <tht< th=""></tht<></tht<></tht<></tht<>	C 5147 C 5149 C 5148 C 5148 C 5149		94 G-umax (\$00000 (1-100000 (\$00000) (000000)
e Rod managementation	e Rad Branning	STATE STATESTICS	
3339 成果情報登録【研究共通社	「東京副長島精麗ファイルの指定」	>>>> 応用性報告録[研究組織性報の入力]	
5	6	7	
	полните такан, насалоссияется како части со настоя полните такан и санански настоя настоя како на настоя санански настоя настоя на настоя на настоя на настоя санански настоя на настоя на настоя на настоя на настоя санански настоя настоя настоя на настоя на настоя на настоя санански настоя настоя настоя на настоя настоя на		

<問題点>

- ・入力できる項目から入力することができない。
- ・全体でどの程度入力項目が存在するのかが分からない。

2-1. ③ 応募情報入力画面の改善

これから

どこからでも入力できます



く改善ポイント>

- ・入力できる項目から入力することができる。
- ・入力が必要な項目をあらかじめ把握しておくことができる。

2-1. ④ 研究分担者追加の簡略化

これまで

研究分担者の追加を行うためには、必要となる情報を 全て手入力する必要がある。

研究分担者を1名追加するために、8項目への入力が必要。



<問題点>

入力作業が非常に面倒。

・入力間違いを助長する。

2-1. ④ 研究分担者追加の簡略化

これから

研究者情報を検索することで研究分担者追加を行えるように!



< 改善ポイント> ・ 入力作業の手間の解消。

「入力TF未の于间の胜泊。

入力間違いと確認の手間を減らすことができる。

2-1. ⑤ 過去の応募/採択課題情報のコピー機能



・応募の本質的な部分(申請内容の部分)への注力が可能。



2-1. ⑦ ReaD & Researchmapとの連携





く改善ポイント>

ReaD & Researchmapへ登録・連携をおこなうと、業績/略歴情報がe-Rad応募情報として
 活用できるようにする。

・また、e-Radに応募情報として新規に登録した業績を、ReaD & Researchmapに自動送信。

2-1. ⑧ 応募情報の引き戻し(研究者)

これまで

応募情報を一旦提出してしまうと、研究機関の事務担当者へ依頼しない限り、再度編集できるようにならない。



<問題点>

・【研究者】提出後にミスに気付いた際に、事務担当者へ連絡をしなければ修正が行えない。

・【研究機関】依頼のたびに、修正依頼の処理を行う手間がある。



研究者自身で提出した応募情報の出し 直し(「引き戻し」)ができるようになる。

く改善ポイント>

・「引き戻し」可能なタイミング

研究機関から配分機関へ提出するまで。

【研究者】事務担当者へ連絡を行う手間なく、修正作業が可能。

・【研究機関】依頼のたびに、修正依頼の処理を行う必要がなくなる。

2-1. ⑨ 画面へのタイマー表示機能



これまで



<問題点>

ー定時間以上、操作をせずに放置していると、自動的にシステムを終了させていただく 「自動終了方式」を採用→入力途中の内容が全て消えてしまう。

2-1. ⑨ 画面へのタイマー表示機能

これから

カラータイマーの表示でログアウトまでの時間を確認



<改善ポイント> 最後に操作した時間を把握することで、自動終了までの時間を把握。

2-2. ① 公募案内のメール通知



これまで

e-Rad上に公募情報が掲載されたとしても、特に通知の連絡 があるわけではない。



- <問題点>
- ・【研究者】自分が応募できそうな公募情報を見逃す危険がある。

・【研究機関】研究費の情報を取得するために、定期的にサイトを訪れる手間がある。

2-2. ① 公募案内のメール通知

これから

自身の研究分野に該当する公募登録のお知らせが届くように!

自身の「研究分野」を登録しておくことで、その「研究分野」に該当する公募情報が 公開された時点で自動的にメール受信できるようになる。



く改善ポイント>

- ・【研究者】自分が応募できそうな公募情報を常に把握することができる。
- ・【研究機関】研究費の情報を取得するために、余計な手間を割かずに済む。



く改善ポイント>

キーワードを始め、分野や公募期間等、様々な条件で検索ができるようになる。

2-3. ① 機関別ログインIDの統合

これまで





<改善ポイント>

ーつのIDで、複数機関から申請可能。



3-1. ② ページの内容に沿ったヘルプ情報の表示



<問題点>

・PDFファイルが巨大であり、ダウンロードやファイルを開くために時間がかかる。 ・開いている画面に沿った内容が表示されるわけではないため、該当箇所を探す 必要がある。

3-1. ② ページの内容に沿ったヘルプ情報の表示

これから

開いているページの内容に沿ったヘルプを表示できるように!

PDFファイルではなく、HTMLでヘルプページを作成。開いているページに該当する内容を表示できるようになる。



<改善ポイント> ・ページごとに分割された形で表示できるため、表示が素早くなる。 ヘルプを開いた後の、該当箇所を探す手間の軽減。

3-1. ③ エフォート管理機能の強化

これまで

以下のとおり、閲覧/変更が行える範囲に制限が存在する。

	旧システム				
	研究	论者	研究機関		
エフォート確認対象	閲覧	変更	閲覧		
研究代表者としての課題情報	0	0	0		
研究分担者としての課題情報	×	Δ	×		

※各記号の意味
○:閲覧/変更可能
△:代表者経由で可能
×:閲覧/変更不可
−:未対応

53

<問題点>

・【研究者】 e-Rad上でエフォート管理対象課題情報を全て表示することができない。

・【研究機関】自機関に所属している研究者の応募・採択状況の確認が行えない。

3-1. ③ エフォート管理機能の強化

これから

関わりのある全ての課題情報を閲覧でき、変更申請も可能に!

	旧システム			新システム		
	研究者		研究機関	研究者		研究機関
エフォート確認対象	閲覧	変更	閲覧	閲覧	変更	閲覧
研究代表者としての課題情報	0	0	0	0	0	0
研究分担者としての課題情報	×	Δ	×	0	0	0
e-Rad管理外の課題情報※1	-	-	-	Ο	0	Ο
その他の活動※2	-	-	-	0	Ο	0

※1 e-Radで応募する以外の研究費課題情報のエフォート。本人が任意で登録。 ※2研究活動以外の職務として行う.研究活動や教育活動等に関するエフォート。

<改善ポイント>

・【研究者】自身のエフォート情報の管理を自分自身で行えるようになる。

・【研究機関】自機関に所属している研究者の全ての応募・採択状況を常に把握することができるようになる。

補足)エフォート管理のチェック方法の変更と管理徹底のお願い

新システムでは、エフォート管理のチェック方法が変更されます。

<経緯>

[「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定)より抜粋]

国及び資金配分機関は、資金配分の不合理な重複や過度の集中を避けるため、大学及び公的研究機関に研究者のエフォート管理を徹底させるとともに「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」を運用し、競争的資金を適切かつ効率的に執行する。

くチェックの変更点>

旧システムの場合 新システムの場合 システム上で採択済み課題のエフォー システム上では制御せず、100%を超 ト合計が100を超える場合には採択が える研究者については定期的に事業 行えない※ように制御。採択以降も 担当者から修正を依頼。 100%を超える変更申請は行えないよ うにする。 ※結果を登録できない場合、配分機関より当該 研究者の所属する研究機関又は研究者宛に確 認の連絡をさせていただきます。 管理機能を強化しておりますので、適切なエフォート管理をお願いします。 55